

# フリースクール札幌自由が丘学園 2021年度 活動報告

## 【 2021 年度課題 】

- ・小学生の入学に対して、特に学習支援について暫定的な体制をつくったが、今後も小学生を常時受け入れられるような体制づくりが必要である。
- ・生徒数は2021年4月が11名、2022年3月が22名、1年を通して12名が新入学しており、2019年度・2020年度よりはやや少なくなっている。2021年度は「授業や生徒の様子を見たい」という要望から不登校相談会への参加が少なかった。生徒数増のためには、不登校相談会についての見直しと、新たに相談者やフリースクールの入学希望者をつなげるための方策が必要である。開放デーは在校生が外部の人を受け入れようという気持ちを育む重要な機会となっていることから、次年度も継続したい。
- ・クラウドファンディングを行い、授業料等減額制度は当面継続できる見込みである。しかし、寄付を資金とする制度継続には限界があり、公的支援を求める活動が必須である。

## 【2022 年度目標】

- ・常時、小学生を受け入れるための体制づくり。(特に学習支援)
- ・不登校相談会と開放デーの広報範囲を広げ、相談者の増加を目指す。  
市内小中学校 300 校にチラシを発送し、2022 年度はその成果を検証する。
- ・他都道府県の不登校家庭への補助制度を元に、市・道に対して公的支援を求める活動を行う。(北海道フリースクール等ネットワークでも同意見があり、連携して行う。)
- ・生徒数の確保(相談会の継続、イベント企画、広報活動)
- ・電子黒板を利用した授業を行い、通学が難しい子どもに対するアプローチを検討する。

## 教育活動の充実に関して

### 【 在籍生徒数 】

	2021年4月	2022年3月
小5	0	1
小6	0	4
中1	0	3
中2	4	5
中3	7	9
計	11	22

### 【 2021年度 時間割 】

月	火	水	木	金
個別学習	理科	社会	算数 数学	日本語
英語	情報/ What's ?	英語	国語	算数 数学
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
創造活動	テーマ研究 ／ものづくり	体育など	美術/ 音を楽しむ	創造活動

※「創造活動」は内容を各自で決めています。

※「What's LIFE?」は生命・人生・生きるなどをテーマに討論や生徒による授業などを行います。

### 【 2021年度 主な行事 】

4月	身体測定
5月	交流会
6月	中央図書館見学
7月	マリンスポーツ体験
8月	夏の勉強会、藻岩山登山
9月	宿泊学習
10月	ハロウィンパーティー
11月	大学訪問、プラネタリウム鑑賞
12月	クリスマス会
1月	スケート
2月	スキー
3月	新しい旅立ちを祝う集い

### 【 オンライン授業 】



5～6月は新型コロナウイルス感染拡大により休校・週2登校期間を設けましたが、オンライン授業による学習支援を続けることができました。また、1月～3月も感染拡大が顕著だったことから、対面授業をそのまま配信する形式でオンライン授業を実施しました(国・英・数のみ)。感染症に不安を抱いている生徒、自宅待機をしなければならない生徒、そして交通障害で通学ができない生徒がオンライン授業を利用しました。昨年度の実践の積み重ねもあり、オンラインでの学習支援をスムーズに行うことができたことは2021年度の成果であるといえます。

### 【 生徒の主体的活動 ～創造活動～ 】



2021年度は特に創造活動や休み時間に誘い合ってボードゲーム・カードゲームを行う様子が見られました。生徒が主体的に新入生・体験入学生に声をかけており、まだフリースクールに慣れていない生徒が安心して過ごすための一助となっていました。開放デー(外部の人がフリースクールの見学をすることができる日)も生徒たちは見学者を歓迎の気持ちをもって迎えており、ゲームを通して仲を深める文化ができあがっています。

## 【 行事 ～宿泊学習 in 洞爺～ 】



9月中旬、洞爺で一泊二日の宿泊学習を実施しました。2021年度の理科・地学クラスの授業では地震・火山について学習しており、地震や噴火が起こる仕組みを学んだ上で有珠山・昭和祈山を見学することができました。(地学クラスを選択していない生徒もいるので、同内容について事前学習も行いました。)有珠山噴火の被害跡地や火口の見学を通して、自然の恐ろしさと恩恵について学ぶ宿泊学習となりました。また、一泊二日ではありましたが集団生活の基本的なルール(時間を守る、話をしっかり聞くなど)について改めて確認する機会となりました。

## 【 行事 ～クリスマス会～ 】



発表係、ゲーム進行係、装飾係などに分かれて、2学期末のお楽しみ会としてクリスマス会を実施しました。スタッフはリードせずに生徒が主体となって話し合い、計画・準備・当日の進行を行いました。リーダーシップを発揮する生徒がいたり、周りとの関わりが少なかった生徒が作業を通して協力したりするなど、普段は見られない一面を見ることができました。コロナ禍以前のようにお菓子作りや会食はなかなかできませんが、ハロウィンパーティーやクリスマス会は生徒たちが主体的に物事を進め、同じクラスの仲間として協力し合う行事の一つとなっています。

### ～生徒の作文から～

・私はまだ入ったばかりなので、まだ経験できていないこともありますけど、これだけは言えます。フリースクールのメンバーの皆様は良い人しかいません。良い人しかいないと良い思い出しかできません。ここ数カ月のフリースクールの思い出の中に嫌な思い出はありません。本当にすごいです。

・私は日常的にフリースクールに通うようになって、人と前より素直に向き合えるようになったと思います。心優しい人たちに出会えて、助けられて、とても平和な学校生活を送れました。

・入ったばかりはあまり馴染めずずっと早く家に帰りたと思ってました。お昼も母が作ってくれた弁当に口を付けられずお昼ご飯を食べない日が続きました。しばらくするとHちゃんらが昼休みの時間にカードゲームによくさそってくれて自分から輪に入りに行けるようになり、私にとってはうれしすぎました。その日からだんだん気持ちが楽になりフリースクールの環境に慣れていきました。

・コロナウイルスの影響で、色々な行事が中止になって、楽しい思い出があまりできなくてつまらなく感じました。2年前、フリースクールに通い始めた時に強歩遠足を知り、長い距離を友達と長い時間会話してみたかったです。また、疲れて話す気力もなくなるということも体験してみたかったです。

## 2021年度の取り組みから

### 【 不登校相談会の実施 】

日にち	参加者
5/22(土)	0組
6/26(土)	1組
7/10(土)	2組
8/21(土)	1組
9/18(土)	0組
10/23(土)	0組
11/27(土)	0組
12/25(土)	1組
1/29(土)	0組
2/26(土)	0組
3/26(土)	1組
	計 6組

### 【 開放デー 】

日にち	参加者(外部)
5/21(金)	0組
6/11(金)	0組
7/9(金)	1組
8/30(月)	0組
9/17(金)	0組
10/22(金)	1組
11/26(金)	1組
12/17(金)	2組
1/28(金)	0組
2/25(金)	2組
	計 7組

不登校相談会は「授業や生徒の様子を見たい」という声が多く、例年より参加者は少なかったため見直しが必要。開放デーには上記の参加者の他、卒業生や卒業生保護者が参加しており、在校生が外部の人を受け入れる気持ちをつくるための素地にもなっているため継続したい。

### 【 クラウドファンディングの実施 】

7～8月に授業料減額を目的としたクラウドファンディングを実施しました。今回は卒業生、卒業生保護者に協力を依頼し、寄せていただいたメッセージを広報に利用しました。

・自由が丘には様々な道がありました。それは用意された道ばかりではありません。子どもたちの主体的な考えを尊重し、一緒に道を作ってくれました。一緒に悩み、考えてくれる大人が居ることに安心感を覚えていたのだと、今、思います。

・家族の事、自分の事、友達の事、当時は色々な悩みがありました。僕にとって悩みをなくすためには、行動して解決して、悩みの種を消すだけでは不十分でした。生活を変えて良い環境を作り、わだかまりがなくなるのをただ待つ事が一番大事だったようで、僕の場合はフリースクールがその環境でした。

(メッセージから抜粋)

約 200 万円の寄付が集まり、今年度も授業料等減額制度を継続することができました。寄付を継続的に集めて制度を維持していくことには限度があるため、早期に家庭への公的支援を実現させることが必要です。

### 【 ブログ・Facebook・Twitter の発信 】

2017年4月よりFacebookを、2018年4月よりTwitterによる発信を行っています。今年度はホームページと共に週1回程度の更新を行い、生徒や活動の様子を伝えてきました。2022年4月末時点でのFacebookフォロワー数は572人、Twitterフォロワー数は751人となっています。2021年度はクラウドファンディングの広報を機にそれぞれのフォロワー数が増加し、より多くの方にフリースクールの情報を伝えることができました。